

露地・雨除けサクランボ特報 No.7

JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

今後は気温が上昇し、ハダニ類の多発や土壌の乾燥が心配されます。防除・園地管理を徹底し、次年度に備えて下さい。今後の管理については、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保、夏季剪定や秋の誘引等を実施し、次年度へ向けて花芽と樹体の充実を図りましょう。

薬剤散布

隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

散布時期：8月上旬（前回の散布から14日後）

	(水100ℓ当り)	
展着剤	10ml	・散布日 8月 日
カネマイトフロアブル	100ml（収穫7日前まで、1回以内）	・散布量 ℓ
トレノックスフロアブル	200ml（収穫21日前まで、5回以内）	
サムコルフロアブル10	40ml（収穫前日まで、3回以内）	

*対象病害虫：ハダニ類、褐色せん孔病、ケムシ類、ハマキムシ類、（アメリカシロヒトリ）

*散布量：10a当り 600ℓ以上

○8月中旬以降もハダニ類が発生する場合は、ダニゲッターフロアブルの2,000倍（前日、1回）を特別散布する。

ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻に薬害を生じる恐れがあるので、飛散しないよう注意する。

◎管理作業

1) かん水：定期的を実施する。（次年度の双子果防止及び花芽充実のため。）
1回のかん水量は、20ミリ程度が目安です。

2) 除草：害虫の巣とならないよう定期的を実施する

3) 被覆ビニールの除去、強風及び排水対策は万全にする。

4) 誘引：若木は誘引を実施し、側枝形成を図る。

*農薬（毒物・劇物）を購入の際には、印鑑をご持参下さい。